

【国・県・町の教育施策】

- ・資質・能力の確実な育成
- ・社会に開かれた教育課程
- ・学校における働き方改革
- ・ふくおか未来人材育成
- ・大木町教育施策実施計画

【学校教育目標】

自ら学ぶ力と豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

よく考え表現する子ども ; 相手を思いやる子ども ; たくましい子ども

【保護者・地域の願い】

- ・考える力 聴く力 表現力
- ・思いやり チャレンジ精神
- ・やり抜く力 生活習慣 (R2.2 調査)

【教育課題】

- (知) 基礎・基本の学力の定着と**表現力**の育成
- (徳) **自己肯定感**と相手を思いやる心の向上
- (体) バランスの良い体力と健やかな心の育成

【経営の基本方針】

- 安全・安心な環境の中、一人一人の子どものよさや可能性をとらえ、すべての子どもたちが学校生活に楽しさや喜びを感じ、教師もやりがいを感じ、保護者や地域の期待に応えうる信頼される学校づくりをめざした教育活動を推進する。
- (1) 自分で考え判断して行動できる児童を育成する。
- (2) 共通の目標達成に向けやりがいを感じながら協働できる教師チームに高める。
- (3) 重点目標を理解し協働できる学校運営協議会・地域学校協働活動との連携を深め社会に開かれた教育課程を推進する。

【経営課題】

- 教育活動の質を高める  
カリキュラムマネジメント
- チームの一員としての教師力の向上
- タブレット等 ICT 機器を活用した**  
効率的・効果的な働き方改革の推進

【令和6年度末までの中期的な教育目標】

◎**思いを豊かに表現し互いを高め合う子どもの育成**

- 意欲的に表現できる子ども
- 目標に向かって粘り強く取り組む子ども
- 有用感や自信のある子ども

【経営の重点】

◎重点目標達成のための3つの方途

- 1 学びづくり (共に学ぶ喜びを味わう授業づくり)
- 2 学びの場づくり (主体的・対話的な学びを促進する  
環境・体制づくり)
- 3 学びの支援者づくり (指導力・経営力向上のための研修と  
家庭・地域との連携)

【本年度の重点目標】

◎**声を響かせ学ぶことを楽しむ子どもの育成**

～支え合い・高め合い・磨き合う3つの“あい”～

- 様々な場で自分の思いや考えを言葉や声で表現できる 80%
- **見通しをもち協力して最後までやり遂げる** 85%
- 分かることやできることが増え自他の伸びを感じる 80%

【具体策】

視点1 **表現することの楽しさを味わわせる**

視点2 **協力して多様な表現技法を身に付けさせる**

視点3 **自分や友達の伸びや学びをふり返らせる**

- 1 学びづくり
  - ① 主体的・対話的な学びへの授業改善
    - ◎教材研究に基づく指導内容を明確にした単元計画の立案
    - ◎「書く活動」と多様な表現による交流活動
    - ◎声を響かせることを意識した発表
  - ② 特別支援教育の視点から
    - 特性把握→個別の支援計画・指導計画→組織的支援
    - ◎巡回相談の活用やSCとの連携
  - ③ 人権・同和教育の視点から
    - 人権意識を高め合う指導 カリキュラムの確実な実施
    - ◎UD、LGBTQ+を意識した環境整備
- 2 学びの場づくり
  - ① 環境整備の充実と安全・安心な学校整備
    - 環境計画に基づく相手を意識した掲示
    - 安全点検、安全マップ、**危機管理マニュアルの付加修正**
  - ② 組織運営の充実
    - 2班による目標・方策の共有と共通実践
    - 基礎・基本の定着を図る学力向上班からの共通実践
    - ◎主任やコーディネーターを中心とした推進委員会の運営
  - ③ 学年・学級経営の充実
    - ◎2班会議や各種推進委員会での**決定事項の周知徹底**
    - ◎1年間、6年間を見通した支援の軽重
  - ④ 生徒指導・教育相談・特別支援教育体制の充実
    - 傾聴、肯定的かわりと励ましのバランス
    - ◎**早期発見と報・連・相による対応**
- 3 学びの支援者づくり
  - ① 教師自身の学ぼうとする意欲に基づく職員研修の充実と  
自己研修・自己研鑽・模範となる言動
    - ◎「仕事は厳しく！職場は明るく！」(不祥事防止)
    - ◎計画的な**タブレットの活用**
    - ◎**紀要や資料回覧**などを含めた研修報告の位置付け
  - ② 効率的な仕事への意識改革と内容改善
    - ◎質を落とさずに効率化を図るための**データの保管と共有**
    - 一部教科担任制による負担軽減と授業の質の向上
  - ③ 目標管理による評価制度の推進
  - ④ 保護者や地域と連携した開かれた学校づくりの推進
    - ◎**地域学校協働活動推進委員との連携と人材リストの作成**
  - ⑤ 保護者と連携した基本的な生活習慣の定着や学力向上
    - ◎家庭学習の目的・内容・方法を家庭と学校で共有

【教育課程編成の基本方針】

- 学校教育の目的、目標と児童の教育課題から子どもと学校と地域が共有できるわかりやすい重点目標を設定し、教育課程を編成する。
- 校務分掌に基づき教職員が適切に役割を分担し、相互に連携しながら、重点目標達成に向けた教育の内容等を教科横断的な視点で組み立てていく。
- 編成のための作業内容、作業手順をもとに、目的的かつ計画的に全教職員が全体を把握して連携しながら進めていく。

【指導の重点】

自分の思いや考えを表現し、高め合う楽しさを大切に

【全教科・領域で】

◎ **自分の思いや考え、感じたことをわかりやすく(理由・根拠・述べ方等) はっきりとした声で精一杯表現する子ども**を目指す

- 1 教科指導 (学力向上プランの実践)
  - ◎**多様な形態**による自分の思いや考えを**表現する時間の確保**
  - ◎話し合い活動やふり返りでの「書く活動」の位置づけ
  - ◎低から高への段階的な家庭学習につながる**基本・基本の定着**
  - 基盤になる読書活動の**目標設定**と継続充実
- 2 道徳 (豊かな心育成プランの実践)
  - ◎人間関係づくりを中心に指導内容の重点化  
「希望と勇気、努力と強い意志」「親切、思いやり」  
全学年A-(5)、低・中B-(6)、高B-(7)
  - 多角的・多面的視点からの道徳の時間の充実  
(**自他の立場から議論**)
  - 他の教育活動との関連化(教科、行事、地域人材関係)
- 3 特別活動 よりよい人間関係形成と希望や目標を持って生きる態度の育成
  - ◎相手を意識した意志決定→実践→ふり返り(キャリアパスポートの活用)
  - ◎**児童会や委員会活動などによる自主的・自発的な活動の称賛**
- 4 総合的な学習の時間
  - 厳選した内容で教科横断的な視点での資質能力の育成
  - 地域よさを再確認し郷土愛を育む**「ふるさと学習」
- 5 外国語活動、外国語科
  - ALTとの協力によるスモールトークの充実